

ツインアクセル（ブラジル国債& オーストラリア小型株式） 《2021-01》

運用報告書（全体版） 第5期

（決算日 2019年9月26日）

（作成対象期間 2018年9月27日～2019年9月26日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の受益証券 ロ. ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ. ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
組入制限	ベビーファンドの株式組入上限比率	無制限
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (円換算)		ブラジル・リアル 為替レートの		株式 組入比率	公社債 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
1 期末 (2015年9月28日)	円 7,609	円 10	% △23.8	7,977	% △20.2	円 30.29	% △33.4	% 43.4	% 48.1	% 4.9	百万円 21,559
2 期末 (2016年9月26日)	9,256	10	21.8	7,802	△ 2.2	31.07	2.6	37.4	51.7	5.6	13,470
3 期末 (2017年9月26日)	11,600	10	25.4	9,393	20.4	35.31	13.6	34.8	55.4	5.0	7,682
4 期末 (2018年9月26日)	10,542	10	△ 9.0	9,476	0.9	27.71	△21.5	40.3	49.8	4.3	4,808
5 期末 (2019年9月26日)	10,548	10	0.2	9,119	△ 3.8	25.97	△ 6.3	37.8	52.2	5.8	3,512

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

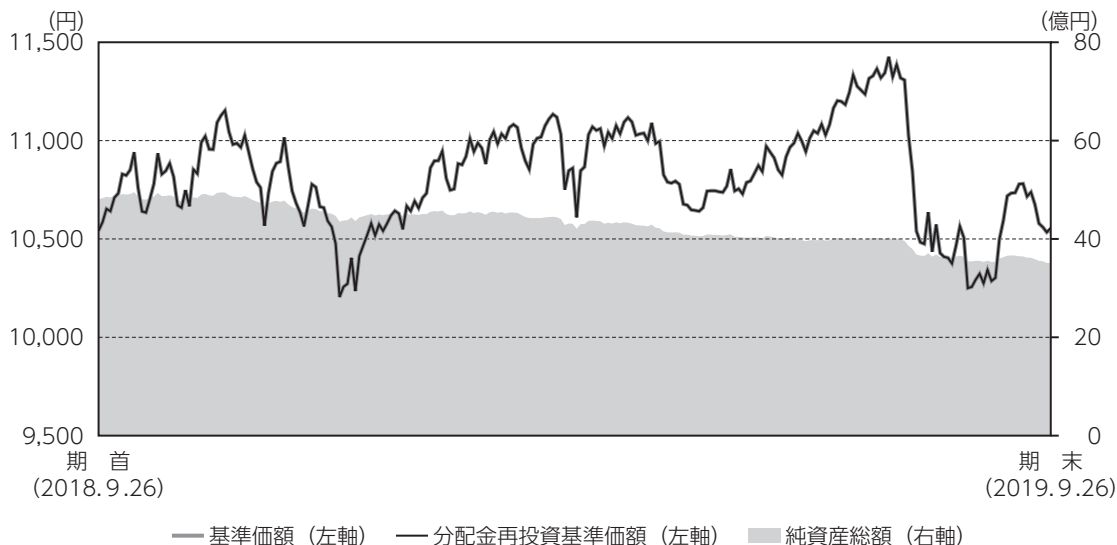
(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,542円

期末：10,548円（分配金10円）

騰落率：0.2%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	7.2%	53.9%
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	△3.5%	45.7%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、ブラジル・リアルやオーストラリア・ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因でしたが、ブラジル債券の価格上昇などがプラス要因となり、小幅な上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ツインアクセル（ブラジル国債&オーストラリア小型株式） <<2021-01>>

年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (円 換 算) (参考指数)		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト (参考指数)		株 式 組 入 率 比	公 社 比 率 組 入 比	投 資 信 託 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
(期首)2018年 9月26日	円 10,542	% -	9,476	% -	円 27.71	% -	% 40.3	% 49.8	% 4.3
9 月末	10,653	1.1	9,456	△ 0.2	28.28	2.1	39.7	50.5	4.2
10 月末	10,853	3.0	8,708	△ 8.1	30.62	10.5	35.8	54.4	4.0
11 月末	10,885	3.3	8,944	△ 5.6	29.44	6.2	38.1	52.0	4.3
12 月末	10,404	△1.3	8,181	△13.7	28.59	3.2	37.0	52.9	4.5
2019年 1 月末	10,732	1.8	8,690	△ 8.3	29.59	6.8	35.7	55.6	4.2
2 月末	11,034	4.7	9,122	△ 3.7	29.72	7.3	36.7	54.0	4.2
3 月末	10,847	2.9	9,080	△ 4.2	28.42	2.6	37.3	53.0	4.7
4 月末	10,996	4.3	9,355	△ 1.3	28.25	1.9	39.1	51.5	4.7
5 月末	10,744	1.9	9,025	△ 4.8	27.45	△ 0.9	38.6	51.7	4.7
6 月末	11,050	4.8	9,408	△ 0.7	28.19	1.7	37.9	52.0	5.1
7 月末	11,318	7.4	9,545	0.7	28.65	3.4	37.7	54.0	5.1
8 月末	10,275	△2.5	8,708	△ 8.1	25.52	△ 7.9	38.4	52.8	5.9
(期末)2019年 9月26日	10,558	0.2	9,119	△ 3.8	25.97	△ 6.3	37.8	52.2	5.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.9.27~2019.9.26)

■ブラジル債券市況

ブラジル国債の価格は上昇（金利は低下）しました。

ブラジル債券市況は、当作成期首から2018年10月にかけて、大統領選挙でのボルソナロ氏の勝利を好感したブラジル国債を買う動きに加えて、通貨高を受けて政策金利の利上げ見通しが後退したことなどから、金利は低下しました。年末にかけては、インフレ率が低位で推移していることや、それを受けてブラジル中央銀行の政策金利据え置きが継続されるとの見方から、金利は低下しました。2019年4月にかけては、新政権下で年金改革法案審議の進ちょくが注目される一方で、金利はおおむね横ばいになりました。6月にかけては、政府と議会が協力関係の構築に向けた動きが見られ、年金改革への期待感が一段と高まる一方、世界的に金融緩和観測が高まったことも背景に、金利は一段と低下しました。

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2018年12月にかけて下落しました。米中貿易摩擦をめぐる動向や世界経済の減速への警戒感などから世界的に株式市場が軟調となる中で、オーストラリア株式市況も下落基調となりました。しかし2019年3月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待や資源価格が堅調に推移したことなどをを受けて、堅調に推移しました。その後は、世界的な景気減速懸念や米中貿易摩擦への懸念などから下落する局面も見られましたが、RBA（オーストラリア準備銀行）の緩和的な金融政策姿勢などが支援材料となり、緩やかな上昇基調で推移しました。

■為替相場

ブラジル・レアルの対円為替相場は下落しました。

ブラジル・レアルの対円為替相場は、当作成期首から2018年10月にかけて、大統領選挙で市場に友好的な政策志向とされるボルソナロ氏が勝利したことから、レアルは上昇しました。しかし年末にかけては、世界的なリスク回避の動きを受けた円買いの流れから下落しました。2019年以降は、新政権への改革期待や世界的な金融緩和観測の高まりなどから上昇する局面も見られましたが、米中貿易摩擦が激化したことや世界的な景気後退懸念などから、おおむね下落基調で推移しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当作成期を通じて、下落基調で推移しました。

株価や原油価格の下落を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったこと、米国が中国製品に対する関税率の引き上げを表明したことによる米中貿易摩擦激化への懸念などが、下落要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド≪2021-01≫

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

短期的には、米中貿易摩擦や資源価格の動向などに左右される展開になると考えられます。一方で、低金利環境が継続していることや世界的に経済が堅調であることなどが、支援材料になるとみています。また、大型の液化天然ガスプロジェクトの増加やインフラ（社会基盤）支出の増大なども、支援材料になる見通しです。今後実施される予定の選挙の動向については、各産業にさまざまな影響を与えることも予想されるため、注視する必要があると考えます。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

ポートフォリオについて

(2018.9.27~2019.9.26)

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

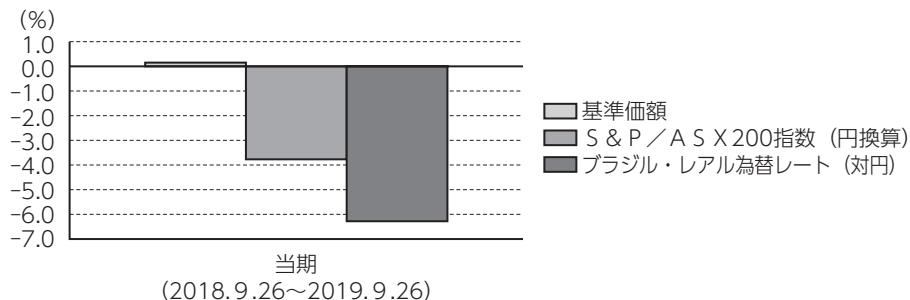
当作成期の投資行動としては、長期的な収益成長が期待される医療向けソフトウェア関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、業績見通しの引き下げなどから今後の成長性が懸念された食品関連銘柄などの売却を行いました。

当作成期は、優位な市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR（一般消費財・サービス）、低コスト市場の製造拠点や強固な流通経路を有するARB CORP（一般消費財・サービス）などを高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2018年9月27日 ～2019年9月26日	
当期分配金（税込み） (円)	10	
対基準価額比率 (%)	0.09	
当期の収益 (円)	10	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	2,740	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	442.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4.69
(d) 分配準備積立金		2,303.50
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		2,750.53
(f) 分配金		10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		2,740.53

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づける方針です。

■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリア小型株式市場については、RBA（オーストラリア準備銀行）の金融緩和策や政府の減税策などが引き続き支援材料になるとみています。一方で、長引く米中貿易摩擦などの地政学リスクについては注視する必要があります。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018.9.27~2019.9.26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	195円	1.803%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,823円です。
（投 信 会 社）	(96)	(0.886)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(94)	(0.864)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(6)	(0.054)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.014	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.013)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	15	0.135	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(13)	(0.117)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	211	1.952	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

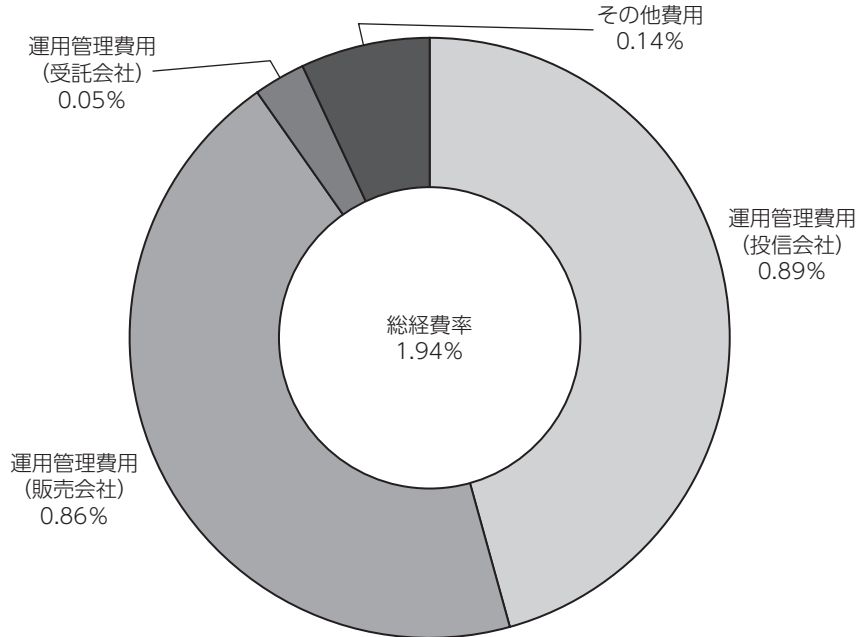
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>	-	-	624,396	781,000
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	-	-	476,640	633,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,166,605千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,631,544千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.71

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>	2,199,647	1,575,251	1,894,712
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	1,680,440	1,203,799	1,606,711

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月26日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>	1,894,712	52.9
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	1,606,711	44.8
コール・ローン等、その他	82,990	2.3
投資信託財産総額	3,584,414	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=72.69円、1ニュージーランド・ドル=67.59円、1ブラジル・レアル=25.97円です。

(注3) ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>において、当期末における外貨建純資産(2,801,213千円)の投資信託財産総額(2,816,596千円)に対する比率は、99.5%です。ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,587,754千円)の投資信託財産総額(1,631,353千円)に対する比率は、97.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,584,414,183円
コール・ローン等	54,990,408
ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>(評価額)	1,894,712,276
ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド(評価額)	1,606,711,499
未収入金	28,000,000
(B) 負債	71,696,269
未払収益分配金	3,330,070
未払解約金	32,101,973
未払信託報酬	36,099,160
その他未払費用	165,066
(C) 純資産総額(A-B)	3,512,717,914
元本	3,330,070,809
次期繰越損益金	182,647,105
(D) 受益権総口数	3,330,070,809口
1万口当り基準価額(C/D)	10,548円

* 期首における元本額は4,561,895,201円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,231,824,392円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,548円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月27日 至2019年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,261円
受取利息	65
その他収益金	28,050
支払利息	△ 20,854
(B) 有価証券売買損益	83,462,953
売買益	207,547,473
売買損	△124,084,520
(C) 信託報酬等	△ 77,866,041
(D) 当期損益金(A + B + C)	5,604,173
(E) 前期繰越損益金	175,292,511
(F) 追加信託差損益金	5,080,491
(配当等相当額)	(1,564,827)
(売買損益相当額)	(3,515,664)
(G) 合計(D + E + F)	185,977,175
(H) 収益分配金	△ 3,330,070
次期繰越損益金(G + H)	182,647,105
追加信託差損益金	5,080,491
(配当等相当額)	(1,564,827)
(売買損益相当額)	(3,515,664)
分配準備積立金	911,053,534
繰越損益金	△733,486,920

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：15,259,682円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	147,300,405円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,564,827
(d) 分配準備積立金	767,083,199
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	915,948,431
(f) 分配金	3,330,070
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	912,618,361
(h) 受益権総口数	3,330,070,809口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>

運用報告書 第6期 (決算日 2019年9月26日)

(作成対象期間 2018年9月27日~2019年9月26日)

ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<<2021-01>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

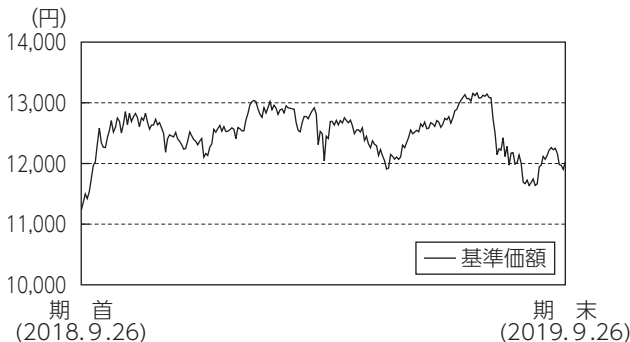
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



下しました。年末にかけては、インフレ率が低位で推移していることや、それを受けてブラジル中央銀行の政策金利据え置きが継続されるとの見方から、金利は低下しました。2019年4月にかけては、新政権下で年金改革法案審議の進捗がよくが注目される一方で、金利はおおむね横ばいになりました。6月にかけては、政府と議会が協力関係の構築に向けた動きが見られ、年金改革への期待感が一段と高まる一方、世界的に金融緩和観測が高まったことも背景に、金利は一段と低下しました。

○為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当作成期首から2018年10月にかけて、大統領選挙で市場に友好的な政策志向とされるボルソナロ氏が勝利したことから、レアルは対円で上昇しました。しかし年末にかけて、ブラジルの主要輸出品目の一つである鉄鉱石の価格が下落したことや、世界的なリスク回避の動きを受けた円買いの流れから、レアルは対円で下落しました。2019年1月は、新政権への改革期待を受けて、レアルは対米ドル・対円ともに上昇しましたが、その後5月半ばにかけては一時、年金改革法案の進捗に暗雲が立ちこめたことや、世界的な景気後退懸念で新興国通貨全般が売られたことから、レアルは対米ドル・対円ともに売られました。7月にかけては、世界的な金融緩和観測の高まりからリスク選好の動きが進み、新興国通貨全般が買われる中で、レアルも買われました。8月は米中貿易摩擦が再度激化したことにより、世界的にリスク回避の動きが強まり、レアルは売られました。当作成期を通してみると、レアルは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引き続き、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）の保有を継続します。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,225円 期末：12,028円 騰落率：7.2%

【基準価額の主な変動要因】

ブラジル・レアルの対円での下落は基準価額のマイナス要因になりましたが、投資している債券の価格の上昇や利息収入がプラス要因になり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○ブラジル債券市況

ブラジル国債の価格は上昇（金利は低下）しました。

当作成期首から2018年10月にかけて、大統領選挙でのボルソナロ氏の勝利を好感したブラジル国債を買う動きに加えて、通貨高を受けて政策金利の利上げ見通しが後退したことなどから、金利は低

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
 (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	17 (17)
(その他)	(0)
合 計	17

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 5,245	千ブラジル・レアル 31,716 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1		153,238	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F(ブラジル) 10% 2021/1/1		899,631

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	額 面 金 額	当 期			未 期			
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ブラジル	千ブラジル・レアル 98,640	千ブラジル・レアル 104,342	千円 2,709,771	% 96.7	% —	% —	% —	% 96.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘	柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
						千ブラジル・レアル	千円	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F		国 債 証 券	10.0000	千ブラジル・レアル 98,640	千ブラジル・レアル 104,342	千円 2,709,771	2021/01/01

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,709,771	96.2
コール・ローン等、その他	106,825	3.8
投資信託財産総額	2,816,596	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1 ブラジル・リアル=25.97円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,801,213千円) の投資信託財産総額 (2,816,596千円) に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,834,633,262円
コール・ローン等	17,700,765
公社債(評価額)	2,709,771,567
未収入金	45,484,920
未収利息	61,578,505
前払費用	97,505
(B) 負債	33,179,004
未払金	18,179,000
未払解約金	15,000,000
その他未払費用	4
(C) 純資産総額(A - B)	2,801,454,258
元本	2,329,202,267
次期繰越損益金	472,251,991
(D) 受益権総口数	2,329,202,267口
1万口当り基準価額(C / D)	12,028円

* 期首における元本額は3,180,823,013円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は851,620,746円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債 & オーストラリア小型株式) <<2021-01>> 1,575,251,311円、ツインアクセル(ブラジル国債 & 世界小型株式) <<2021-01>> 753,950,956円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,028円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月27日 至2019年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	284,645,155円
受取利息	284,658,039
支払利息	△ 12,884
(B) 有価証券売買損益	16,931,866
売買益	185,386,309
売買損	△168,454,443
(C) その他費用	△ 4,665,632
(D) 当期損益金(A + B + C)	296,911,389
(E) 前期繰越損益金	389,719,856
(F) 解約差損益金	△214,379,254
(G) 合計(D + E + F)	472,251,991
次期繰越損益金(G)	472,251,991

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

運用報告書 第5期（決算日 2019年9月26日）

（作成対象期間 2018年9月27日～2019年9月26日）

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

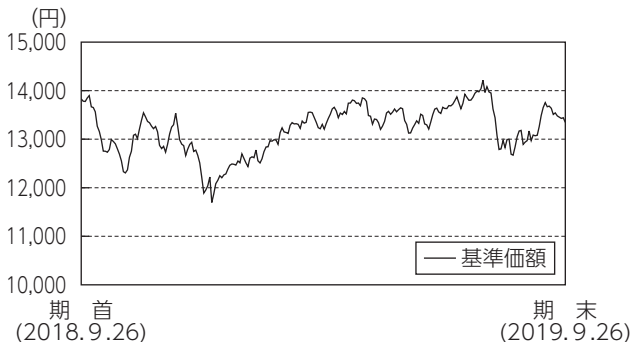
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当完成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S&P/A S X 200指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2018年9月26日	13,831	-	9,476	-	83.3	8.9
9月末	13,777	△ 0.4	9,456	△ 0.2	83.4	8.9
10月末	12,627	△ 8.7	8,708	△ 8.1	83.8	9.4
11月末	13,249	△ 4.2	8,944	△ 5.6	85.4	9.7
12月末	12,220	△ 11.6	8,181	△ 13.7	86.1	10.5
2019年1月末	12,437	△ 10.1	8,690	△ 8.3	84.1	9.9
2月末	13,138	△ 5.0	9,122	△ 3.7	84.3	9.7
3月末	13,325	△ 3.7	9,080	△ 4.2	83.2	10.5
4月末	13,779	△ 0.4	9,355	△ 1.3	85.7	10.4
5月末	13,384	△ 3.2	9,025	△ 4.8	85.0	10.4
6月末	13,634	△ 1.4	9,408	△ 0.7	84.5	11.4
7月末	13,973	1.0	9,545	0.7	83.9	11.4
8月末	12,972	△ 6.2	8,708	△ 8.1	83.9	12.8
(期末)2019年9月26日	13,347	△ 3.5	9,119	△ 3.8	82.7	12.7

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,831円 期末：13,347円 騰落率：△3.5%

【基準価額の主な変動要因】

当完成期の基準価額は、オーストラリア・ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、下落しました。

◆投資環境について

○オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当完成期首から2018年12月にかけて下落しました。米中貿易摩擦をめぐる動向や世界経済の減速への警戒感などから世界的に株式市場が軟調となる中で、オーストラリア株式市況も下落基調となりました。しかし2019年3月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待や資源価格が堅調に推移したことなどを受けて、堅調に推移しました。その後は、世界的な景気減速懸念や米中貿易摩擦への懸念などから下落する局面も見られましたが、RBA (オーストラリア準備銀行) の緩和的な金融政策姿勢などが支援材料となり緩やかな上昇基調で推移しました。

○為替相場

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、当完成期を通じて、下落基調で推移しました。

株価や原油価格の下落を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったこと、米国が中国製品に対する関税率の引き上げを表明したことによる米中貿易摩擦激化への懸念などが、下落要因となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

短期的には、米中貿易摩擦や資源価格の動向などに左右される展開になると考えられます。一方で、低金利環境が継続していることや世界的に経済が堅調であることなどが、支援材料になるとみえています。また、大型の液化天然ガスプロジェクトの増加やインフラ (社会基盤) 支出の増大なども支援材料になる見通しです。今後実施される予定の選挙の動向については、各産業にさまざまな影響を与えることも予想されるため、注視する必要があります。

引き続き、強固なバランシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていく考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

当完成期の投資行動としては、長期的な収益成長が期待される医療向けソフトウェア関連銘柄などを新規に組み入れた一方で、業績見通しの引き下げなどから今後の成長性が懸念された食品関連銘柄などの売却を行いました。

当完成期は、優れた市場シェアや明確な成長戦略などを評価しているBAPCOR (一般消費財・サービス)、低コスト市場の製造拠点や強固な流通経路を有するARB CORP (一般消費財・サービス) などを高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当完成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当完成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。なお、当ファンドは主にオーストラリアの小型株式等を投資対象としていますが、参考指数はオーストラリアの代表的な指数として掲載しています。

《今後の運用方針》

オーストラリアの小型株式等に投資を行い、信託財産の成長をめざして運用を行います。

オーストラリア小型株式市場については、RBA（オーストラリア準備銀行）の金融緩和策や政府の減税策などが引き続き支援材料になるとみています。一方で、長引く米中貿易摩擦などの地政学リスクについては注視する必要があります。

引き続き、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れていく方針です。企業のファンダメンタルズが悪化していない限り、市場の値動きの大きな局面を捉え、これまで綿密に調査してきた銘柄の新規組み入れや保有銘柄の買い増し、ファンダメンタルズのリスク・リターン特性がより優れた銘柄へのシフトなどを行っていき考えです。

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)
(投資信託証券)	(0)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	15 (13)
(その他)	(2)
合計	19

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄

株式

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
ALTIUM LTD (オーストラリア)	千株 19.7	千円 47,058	円 2,388	ARB CORP LTD (オーストラリア)	千株 54.804	千円 76,522	円 1,396
APPEN LTD (オーストラリア)	18,535	33,908	1,829	AUB GROUP LTD (オーストラリア)	68.7	69,609	1,013
PINNACLE INVESTMENT MANAGEME (オーストラリア)	82.7	33,156	400	SPARK NEW ZEALAND LTD (ニュージーランド)	232.1	65,151	280
IDP EDUCATION LTD (オーストラリア)	18.3	23,348	1,275	XERO LTD (ニュージーランド)	12.4	53,221	4,292
MONADELPHOUS GROUP LTD (オーストラリア)	16.4	19,017	1,159	BAPCOR LTD (オーストラリア)	100.3	51,670	515
BEACH ENERGY LTD (オーストラリア)	133.4	18,132	135	BLACKMORES LTD (オーストラリア)	6.22	43,474	6,989
SERKO LTD (ニュージーランド)	66.5	17,361	261	FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C (ニュージーランド)	37.1	41,331	1,114
PUSHPAY HOLDINGS LTD (ニュージーランド)	69.9	16,025	229	BRICKWORKS LTD (オーストラリア)	31.2	39,425	1,263
DELEGAT GROUP LTD (ニュージーランド)	19,917	14,935	749	BEACH ENERGY LTD (オーストラリア)	239.5	38,635	161
BAPCOR LTD (オーストラリア)	28.1	13,548	482	AUCKLAND INTL AIRPORT LTD (ニュージーランド)	59.823	37,025	618

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株式

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外	オーストラリア	百株 6,324.47 (113.26)	千オーストラリア・ドル 4,212 (93)	百株 13,364.17	千オーストラリア・ドル 10,172
国	ニュージーランド	百株 610.69 (332.38)	千ニュージーランド・ドル 322 (32)	百株 2,980	千ニュージーランド・ドル 579

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2018年9月27日から2019年9月26日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	オーストラリア	千口 41.413 (-)	千オーストラリア・ドル 130 (-)	千口 233.473 (-)	千オーストラリア・ドル 632 (-)
国	ニュージーランド	千口 175.306 (-)	千ニュージーランド・ドル 331 (-)	千口 - (-)	千ニュージーランド・ドル - (-)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
ALTIUM LTD	-	159	535	38,961	情報技術
VISTA GROUP INTERNATIONAL LT	2,684	1,974.07	688	50,079	情報技術
CEDAR WOODS PROPERTIES LTD	1,482	881.59	613	44,601	不動産
XERO LTD	275	151	977	71,059	情報技術
NETWEALTH GROUP LTD	1,187	797	708	51,503	金融
HUB24 LTD	388.63	250	307	22,352	金融
APPEN LTD	-	244	517	37,583	情報技術
PRO MEDICUS LTD	-	74.53	209	15,212	ヘルスケア
LYCOPODIUM LTD	617	506	282	20,233	資本財・サービス
COSTA GROUP HOLDINGS LTD	743	-	-	-	生活必需品
CITADEL HOLD LTD/THE Pinnacle Investment Managemen	-	827	356	25,909	金融
SERKO LTD	-	665	246	17,885	情報技術
IDP EDUCATION LTD	-	183	268	19,514	一般消費・サービス
PUSHPAY HOLDINGS LTD	-	699	215	15,649	情報技術
BEACH ENERGY LTD	3,903	2,842	721	52,472	エネルギー
FISHER & PAYKEL HEALTHCARE C	1,023	708	1,112	80,902	ヘルスケア
SPARK NEW ZEALAND LTD	3,517	1,630	682	49,645	コミュニケーション・サービス
IRESS LTD	528	376	440	32,005	情報技術
INVOCARE LTD	775	384	524	38,157	一般消費・サービス
MONADELPHOUS GROUP LTD	430	436	644	46,873	資本財・サービス
NIB HOLDINGS LTD	1,214	1,019	765	55,627	金融
AUB GROUP LTD	1,350	703	790	57,488	金融
AIR NEW ZEALAND LTD	1,388	1,320	339	24,659	資本財・サービス
ARB CORP LTD	1,093	618	1,194	86,835	一般消費・サービス
BAPCOR LTD	2,279	1,557	1,119	81,375	一般消費・サービス
BLACKMORES LTD	58	-	-	-	生活必需品
BRICKWORKS LTD	528	216	386	28,073	素材
NEXTDC LTD	893	797	487	35,455	情報技術
AUCKLAND INTL AIRPORT LTD	1,823	1,278	1,096	79,706	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	28,577.63 23銘柄	21,651.19 28銘柄	16,369 <74.1%>	1,189,894
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
PORT OF TAURANGA LTD	1,815	1,295	837	56,631	資本財・サービス
DELEGAT GROUP LTD	-	199.17	232	15,723	生活必需品
NAPIER PORT HOLDINGS LTD	-	411.52	125	8,483	資本財・サービス
NZX LTD	8,853.29	6,725.67	847	57,278	金融
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	10,668.29 2銘柄	8,631.36 4銘柄	2,043 <8.6%>	138,116
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	39,245.92 25銘柄	30,282.55 32銘柄	- <82.7%>	1,328,011

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末		
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円	
VIVA ENERGY REIT	438.1	311.9	882	64,161	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	394	334.9	887	64,511	
BVWP TRUST	177.3	170.54	678	49,338	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	1,009.4 3銘柄	817.34 3銘柄	2,448 <11.1%>	178,011
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円	
GOODMAN PROPERTY TRUST	-	175.306	382	25,830	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	175.306 382	382 <1.6%>	25,830
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	1,009.4 3銘柄	992.646 4銘柄	- <12.7%>	203,842

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月26日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 1,328,011	% 81.4
投資信託証券	203,842	12.5
コール・ローン等、その他	99,500	6.1
投資信託財産総額	1,631,353	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月26日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル＝72.69円、1ニュージーランド・ドル＝67.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（1,587,754千円）の投資信託財産総額（1,631,353千円）に対する比率は、97.3%です。

ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,631,353,548円
コール・ローン等	83,137,146
株式(評価額)	1,328,011,259
投資信託証券(評価額)	203,842,028
未収入金	5,274,200
未収配当金	11,088,915
(B) 負債	24,682,489
未払金	11,682,483
未払解約金	13,000,000
その他未払費用	6
(C) 純資産総額(A - B)	1,606,671,059
元本	1,203,799,730
次期繰越損益金	402,871,329
(D) 受益権総口数	1,203,799,730口
1万口当り基準価額(C/D)	13,347円

*期首における元本額は1,680,440,285円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は476,640,555円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ツインアクセル(ブラジル国債 & オーストラリア小型株式) < 2021-01 > 1,203,799,730円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は13,347円です。

■損益の状況

当期 自2018年9月27日 至2019年9月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	51,977,504円
受取配当金	51,411,521
受取利息	579,816
支払利息	△ 13,833
(B) 有価証券売買損益	△134,368,863
売買益	202,638,857
売買損	△337,007,720
(C) その他費用	△ 2,236,555
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 84,627,914
(E) 前期繰越損益金	643,858,688
(F) 解約差損益金	△156,359,445
(G) 合計(D + E + F)	402,871,329
次期繰越損益金(G)	402,871,329

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。